

# 分野別計画 (3) 経済・活力

資料5 (当日追加)

将来都市像を実現するための優先順位の考え方

○未来に向け、持続可能な都市であるためには、経済の低成長が見込まれる中で、工夫をしながら足腰の強い経済基盤(税収確保)とまちの活力を維持し、人を呼び込むことが特に優先される

⇒ 人を呼び込む(商業・交流)、魅力的な産業の育成(産業・工業)、農業の強化を重視

地域の魅力を活かして市内外から人を呼び込む

魅力的な産業の育成 農業の強化

## 【優先施策の考え方】

- ・ 柏の顔である中心市街地だけに依存した集客構造は吸引力の低下等から困難
  - ・ 市内地域の特性・魅力を活かした取組を強化し、それらのシャワー効果で市全体に好影響をもたらすことが重要。
- ⇒ まちの活力・魅力の維持に必要。

- 施策3-1 中心市街地に迫る危機への対策
- 施策3-2 未来につながる北部地域の魅力向上
- 施策3-3 手賀沼を中心とする南部地域の活性化

## 【優先取組・事業の考え方】

- ・ 中心市街地は、吸引力の低下・店舗の撤退への対策が遅れないよう、まずは危機感、将来のビジョンを共有し長期の視点に立った本質的な対策が重要。
- ・ 重点目標に資する、親子や高齢者に快適で優しい都市空間作りがより求められる。
- ⇒ 取組1) 新たな魅力を持った中心市街地の実現
  - ⇒ 事業1) エリアマネジメントの推進
  - 事業2) 人に優しいまちへの基盤整備
- ・ 北部は、新しいまちをつくらせている成長過程にある中で、まちづくりにかかわる公・民・学がまず同じビジョンを描き、ビジョンを具現化(ブランド化)していくことが最も重要。
- ⇒ 取組1) 北部地域のブランド化
  - ⇒ 事業1) エリアマネジメントの推進
  - ⇒ 事業2) 柏の葉ブランド確立の推進
- ・ 南部には手賀沼という自然あふれる地域資源があり、また農とのつながりもあることから、手賀沼を活用した取組を進めることで、来街者の増加も期待でき、南部地域及び全域の活性化につながることを期待できる。
- ⇒ 取組1) 手賀沼を活用した交流の推進

## 【優先施策の考え方】

- ・ 重点目標である子育ての視点から、安全・安心で元気に遊べる空間が必要。
  - ・ 公園や広場等は幅広い世代が集う場として、少子高齢化やコミュニティの希薄化からも必要。
- ⇒ 重点目標の達成に資する都市空間に必要

## 施策3-4 産業の活性化

### 【優先取組・事業の考え方】

- ・ まずは魅力的な企業や産業が育たなければインパクトのある雇用の受け皿はできないことから、受け皿となる魅力的な産業の育成を優先。
- ・ 税収や市民の雇用等様々なメリットをもたらす付加価値の高い企業に絞った戦略的な誘致が重要。
- ⇒ 取組1) 戦略的な企業誘致活動
  - ⇒ 事業1) 付加価値の高い産業の誘致
- ・ 市内にはユニークで先進的な企業も多く、郊外には農業、教育・研究機関も充実していることから、連携による新製品や経済効果が期待。
- ⇒ 取組2) 産業支援の推進
  - ⇒ 事業1) 産業間連携コーディネーターの育成

## 【優先施策の考え方】

- ・ 農業は「食」を支える人の生命にも大変つながりが深く、景観や環境面において影響大。
- ⇒ 重点目標の達成に資する都市空間に必要。

## 施策3-5 地域特性を活かした農業の活性化

### 【優先取組・事業の考え方】

- ・ そもそも農業が、仕事として魅力的か・稼ぐことができるのか、という前提の成立が最も重要。
- ⇒ 取組1) 農業経営力の強化
- ・ 生産者と消費者をつなぐことで農業を活性化させ、魅力ある産業とすることが必要。
- ⇒ 取組2) 2) 農業の魅力向上
  - ⇒ 事業1) 1) 農を活かした交流拠点の充実

【論点1】 この3つを重視するという考え方について

【論点2】 これらの考え方(3拠点への集中を優先)について

施策	取組	事業
3-1. 中心市街地に迫る危機への対策	1) 新たな魅力を持った中心市街地の実現	1) エリアマネジメントの推進 2) 人に優しいまちへの基盤整備 3) 中心市街地における再開発事業の推進 4) 中心市街地活性化事業の推進
	2) 交通結節機能の強化	1) 柏駅舎改修と機能 2) 柏駅前広場の再整
	3) 柏の個性づくりの推進	1) にぎわいを創出する 2) 駅周辺個性化の推
	4) 人が集まる場の創出	1) 広域交流スペースの検討 2) 柏駅周辺の空間の有効活用 3) 街なか空地の活用
3-2. 未来につながる北部地域の魅力向上	1) 北部地域のブランド化	1) エリアマネジメントの推進 2) 柏の葉ブランド確立の推進
	2) 計画的なまちづくりの推進	1) まちづくり検討協議会の開催 2) 区画整理除け区域のインフラ整備 3) 市有地の有効活用
3-3. 手賀沼を中心とする南部地域の活性化	1) 手賀沼を活用した交流の推進	1) スポーツ、自然、体験をキーワードにした観光推 2) 水辺環境を活かした空間の形成 3) 手賀沼流域関係団体との連携強化
	2) 産業支援の推進	1) 付加価値の高い産業の誘致 2) 産業用地関連情報の発信
	3) きめ細やかな就業支援	1) 産業間連携コーディネーターの育成 2) 創業支援の推進 3) 企業ニーズに合わせた融資制度の導入
3-4. 産業の活性化	1) 農業経営力の強化	1) 関係機関との連携強化 2) 農産物の高付加価値化の支援 3) 農業経営の拡大・効率化支援 4) 農業・農地を担う人材の確保・育成 5) 柏農産物産地化の推進 6) 地域流通システムの検討
	2) 農業の魅力向上	1) 農を活かした交流拠点の充実 2) 柏農産物の購入機会の拡大 3) 柏農業の情報発信の強化 4) 農業体験等を通じた農業理解の促進
	3) 農地の生産性の向上	1) 農地利用の集積促進事業の推進 2) 耕作放棄地の解消と農地利用の促進 3) 土地改良施設等の維持管理支援 4) 農業生産工程管理(GAP)の推進 5) 農業災害・家畜伝染病等への対策の推進
	1) 身近な商業等の活性化	1) 大学や地域住民等と連携した地域経済振興 2) 個店などの支援 3) 商業・工業・農業の活性化を担う人材の育成及び支援
	2) 取扱高の向上	1) 市民等の受け入れ体制の強化 2) 市場で取り扱う商品等の魅力づくり
3-5. 地域特性を活かした農業の活性化	1) 開かれた市場の推進 2) 取扱高の向上	1) 市民等の受け入れ体制の強化 2) 市場で取り扱う商品等の魅力づくり
3-6. 市内各地域の活性化	1) 開かれた市場の推進 2) 取扱高の向上	1) 市民等の受け入れ体制の強化 2) 市場で取り扱う商品等の魅力づくり
3-7. 市場の活性化	1) 開かれた市場の推進 2) 取扱高の向上	1) 市民等の受け入れ体制の強化 2) 市場で取り扱う商品等の魅力づくり

【論点3】 単なる従来型の商業活性化だけではなく、長期的視点に立ったエリア形成が重要という考え方について

【論点4】 雇用より魅力ある産業の育成が優先されるという考え方について

【論点5】 税収や市民の雇用等様々なメリットをもたらす付加価値の高い企業に絞った戦略的な誘致考え方について

【論点6】 地域経済をつなげていく存在として、仕事としての魅力や経営力の向上が最も重要……という考え方について

# 分野別計画（4）地域のちから

将来都市像を実現するための優先順位の考え方

○本市の財産である市民が、主体的・積極的に活動することや、柏の魅力を再認識することなどを通じて、自分の住む地域に関心を持ち、柏を好きだと思えるようにする。また、対外的に評価されることでも、地域に対する誇りを持てるようにすることが特に優先される

⇒ まずはコミュニティの再構築、その他に文化やスポーツ活動を重視

コミュニティの再構築による地域への関心・関与の向上

文化・スポーツ活動の活性化によるまちの誇りの醸成

## 【優先施策の考え方】

・増大・多様化する地域課題に対応するためには、行政だけではなく、地域のことをよく知る市民が主体的に地域の身近な課題解決に取り組むことが必要。

⇒持続可能なまちには地域力の強化が不可欠。

### 施策4-1 活発に活動するコミュニティの実現

## 【優先取組・事業の考え方】

・担い手の不足等の課題の解決は急務  
・地域で何かをしたいと考える人材を発掘・育成し、その人が地域の中心的な担い手となり、人のつながりが生まれることによる、地域活動の活性化が必要。

⇒取組1)地域コミュニティづくり活動の支援  
⇒事業1)地域活動人材の発掘・育成

・地域における自主的な活動が衰退すれば、コミュニティが育まれる状況は無くなる。積極的に活動をしていきたいと考える地域への支援は重要。

⇒事業2)自主的なまちづくり活動の支援

## 【優先施策の考え方】

・多くの文化・芸術活動に取り組む市民がいるが、市内外の人にとって、柏への文化的イメージは低い。

⇒まちへの愛着・定着の契機として重要

### 施策4-2 誇りの持てる柏市文化の醸成

## 【優先取組・事業の考え方】

・他市との差別化を図る上で、柏の強みである吹奏楽を磨き上げることが、市内外への評価が上がり、柏に対する誇りや、文化的イメージの向上につながる。

⇒取組1)柏らしさあふれる文化の創出  
⇒事業1)音楽の街かしの創出(吹奏楽を活かしたまちづくり)

## 【優先施策の考え方】

・柏レイソルをはじめバスケットボールや陸上等のスポーツチームが多数、全国レベルのスポーツ大会で活躍する高校も存在し、スポーツ資源は豊富。

⇒この特徴を活かした愛着・定着の促進が必要。

### 施策4-3 スポーツを愛するまちの実現

## 【優先取組・事業の考え方】

・「する・みる・ささえる」の中で、将来の重点課題であり目標でもある「健康寿命」を意識し、実施率が低いことも踏まえ、「する」を促進することが最も重要。

⇒取組1)地域での健康・体づくりの推進  
⇒事業1)トップアスリート講習会の開催  
⇒事業2)生涯スポーツきっかけづくり事業

【論点1】この2つを重視するという考え方について

【論点2】従来からの一般的な町会の強化よりも、新たな担い手の発掘・育成が優先されるという考え方について

【論点3】文化面における強み=吹奏楽を磨き上げる考え方について

【論点4】健康寿命を意識し「する」を最重要という考え方について

施策	取組	事業
4-1.活発に活動するコミュニティの実現	1)地域コミュニティづくり活動の支援	1)地域活動人材の発掘・育成 2)自主的なまちづくり活動の支援 3)コミュニティエリアの見直し 4)町会等加入の促進 5)町会や地域団体の連携推進 6)民間ノウハウを活用した施設運営管理
4-2.誇りの持てる柏市文化の醸成	1)柏らしさあふれる文化の創出 2)文化活動の活性化 3)歴史や文化財の保存・活用	1)音楽の街かしの創出(吹奏楽を活かしたまちづくり) 2)柏市ゆかりの文化資源の維持・活用 1)市民の文化活動の支援 2)文化活動拠点の整備 1)柏市史の刊行 2)郷土資料展示室の知見 3)歴史資料(古文書・写真等の活用) 4)歴史資料の保管・管理体制の整備
4-3.スポーツを愛するまちの実現	1)地域での健康・体づくりの推進 2)支えるスポーツの推進 3)スポーツをする場の確保 4)スポーツ施設の適切な運営管理 5)ホームタウンチームとの連携	1)トップアスリート講習会の開催 2)生涯スポーツきっかけづくり事業 3)小学校巡回運動教室や高齢者向けの健康講座 1)スポーツ指導者の育成 2)ボランティア活動の促進 1)民間施設連携の推進 2)学校施設開放事業の推進 1)民間ノウハウを活かしたサービスの提供 1)ホームタウン事業の推進(スポーツチームとの連携)
4-4.地域や社会の課題に対応した生涯学習の推進	1)地域課題に対応した学習支援 2)図書館機能の強化	1)生涯学習活動の情報発信 2)生涯学習成果の仕組みづくり 1)本館・分館機能の見直し 2)課題解決支援型サービスの提供 3)本を通じた交流事業の推進 4)地域・郷土資料の充実化 5)適切な蔵書管理
4-5.多様な市民活動の活性化	1)世代に応じた市民活動人材の育成・意識向上 2)市民活動団体の連携・協力推進 3)市民活動拠点の活用 4)自立的・持続可能な活動の推進	1)啓発講座・イベントの開催 2)公益活動への支援 1)市民活動団体のネットワーク作り 1)柏市民交流センターの運営管理と活用 1)地域によるコミュニティ経営の推進
4-6.男女が対等で利益を享受し責任を担う社会の実現	1)男女共同参画意識の向上	1)ワーク・ライフ・バランスに関する事業者の啓発 2)男女の人権侵害の予防とケア 3)若年男性の地域参加の促進 4)生徒に対する男女共同参画社会の啓発
4-7.世代、国籍を超えた連携・交流の推進	1)教育機関と連携したまちづくり 2)国際化への対応	1)大学や学生との連携促進 1)在住外国人への支援 2)国際理解の推進
4-8.市民が主体の情報共有	1)わかりやすく身近に感じる情報の発信	1)ニーズに即した地域情報の提供 2)市民参加型広報・広聴の仕組み作り 3)市民による地域情報発信の支援 4)情報化の進展に合わせた広報手法の見直し 5)個人ニーズに即した情報提供